

We Serve

The International Association of Lions Clubs

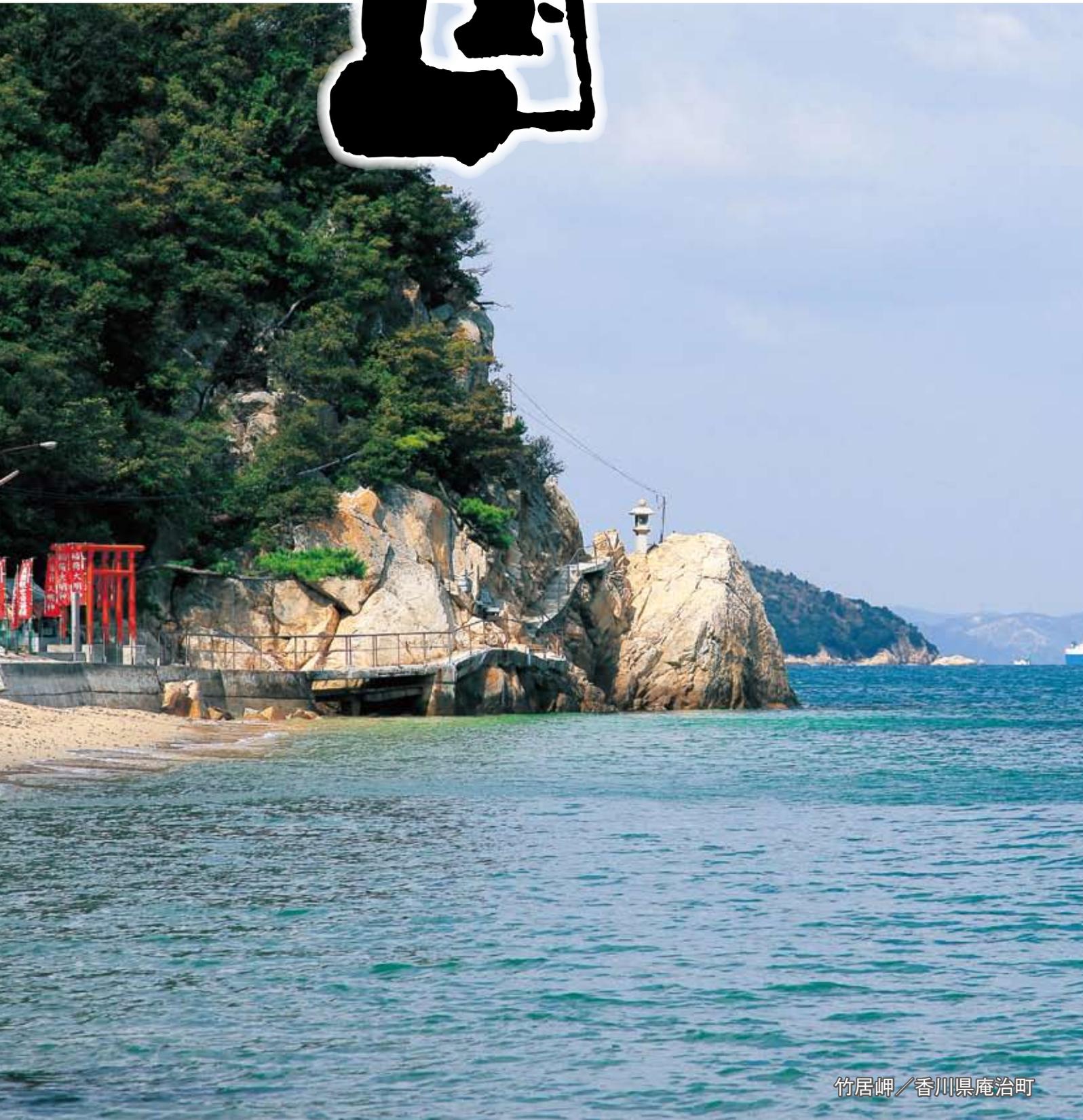


4.5.6

No.4

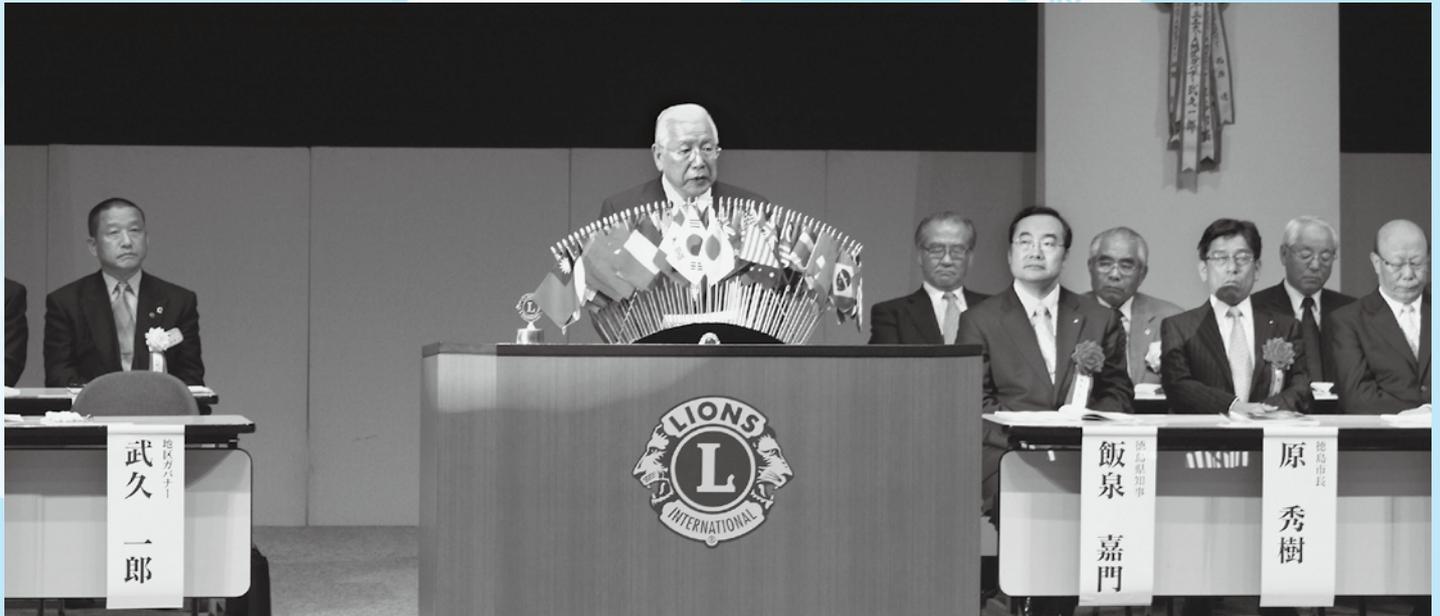
2010. 第70号

平成22年6月25日発行



336-A地区ガバナー任期終了を目前にして — 経験、実績は貴重な財産 —

336-A地区ガバナー 武久 一郎



336-A地区ガバナーの任期もあと少しとなりました。これまで多くの方々のご協力により、何とか任務を全うできたのではないかと思っております。第56回地区年次大会も無事に終了し、ライオンズクラブ会員の皆様のボランティア精神の高さに感動し、一致協力して物事を成し遂げる力に心打たれました。

私の活動は副地区ガバナー予定者となつてから始まりました。地元徳島県の8、9リジョンのライオンズクラブの例会を訪問し、ホストクラブになつていただくようお願いしました。また、各県の名誉顧問様を訪問し、自分の考えをお話するとともに、さまざまご意見を賜りました。8、9リジョンのクラブ訪問は副地区ガバナーとなつてからもう一度行わせていただき、その際各クラブの役員の皆様からキャビネット、年次大会等に関するご意見をいただきました。このことが私の基本方針に反映されております。

基本方針の骨子は

1 会員増強、会員維持

・まずはそれぞれのクラブにふさわしい人材への入会招請

・招請に応じていただけない方には新しいクラブ、(たとえば会費を比較的抑えたクラブ、シニアの方々を主としたクラブ、若い世代の方々を主としたクラブなど)の結成と勧誘

・ライオンズ・メンタープログラムの実施、会員のリテンションを考えるワークショップの開催

2 地域に根ざした、そして地域の方々を巻き込んだ奉仕事業の実施

3 献血事業の推進と骨髓バンクドナー登録の推進

4 次代を担う青少年のためライオンズ・クエスト事業の推進、薬物乱用防止教育への参画

5 ゾーン単位の公式訪問の実施(各クラブ役員の皆様からのクラブ運営の基本方針、ご意見、ご要望などをできるだけお聞きしたい思いから)

とさせていただきます、各ゾーンへの公式訪問の際にお話いたしました。骨髓バンクドナー登録に関してはクラブによって、年齢的な問題もあつて高齢化しているクラブ会員の方々には無理ですが、若いクラブ

会員の方々、そして一般の方々にも登録していただき、骨髓移植に関する

理解も進んだと思っております。ライオンズ・クエスト事業は336
 複合地区の中では先進的であり、公立学校の校内型も行われ、着実に浸
 透してきていますが、先生方の人事異動による頓挫が見られるようにな
 り、継続して着実な効果を持続するには少し問題があるのではないかと
 感じとれます。薬物乱用防止教育認定講師養成講座は、336-A地
 区は立ち遅れていましたが、今年度は各リジョンで行われ、資格を取得
 した会員数も飛躍的に伸びました。実際に講師を要請され、学校におい
 てご講演いただいた方も出てきており、今後に期待できるものと信じて
 おります。ライオンズ・メンタープログラム、ワークショップについて
 は、各ゾーンチェアパーソン、クラブとも積極的に取り組んでいただき、
 少しずつ根付いてきたように感じております。しかし、時代の流れか、
 時代を反映してか、年度末が近づいてから存続が危ぶまれるクラブが出
 てきており「徳島やまももライオンズクラブ」、「徳島シニアライオンズ
 クラブ」、「坂出シニアライオンズクラブ」と3つの新クラブが誕生しま
 したが、「年度末会員数が前年度より、たとえ1名でもプラス」という
 悲願がかなえられにくい状況となっており、ガバナーとして責任を
 感じています。

第56回336-A地区年次大会も4月10日、11日に無事終了しました。
 予定より多くの方々の参加が得られ、徳島ラーメン、半田そうめん、き
 つね寿司、三味線餅つきなども評判がよく、豪華絢爛の阿波踊り、そし
 て阿波踊りでのお見送りの喜んでいたけました。また、韓国354-I
 D地区の方々にも満足していただけたことと思っております。これもひ
 とえに地区役員の方々、大会委員会の方々、そして、336-A地区各
 クラブの方々のご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

ライオンズクラブの役員の任期は原則1年間です。1年の間にどれだ
 けのことができるか、ガバナーもキャビネット役員も一生懸命がんばっ
 てきました。結果については皆様方にお任せいたしますが、これまで成
 し遂げてきたさまざまな経験、実績は、私たちの貴重な財産として残っ
 ていくことでしょう。

本当にありがとうございました。

Contents

- 表紙2 336-A地区ガバナー任期終了を目前にして
- 2・3 第56回地区年次大会を開催
- 4 ガバナーエレクト
- 5 ガバナーズ・アワード
- 6~9 大会ハイライト
- 10~13 代議員総会、代議員分科会
- 14・15 日韓国際交流
- 16・17 Charter Night
- 18・19 全国SAKURAフォーラムIN高知
- 20 趣の異なる韓国の年次大会
- 21~25 委員会報告
- 26~31 周年行事
- 32 1年間の主な活動

表紙写真／徳島中央ライオンズクラブ 関 勝夫



朴総裁と記念品の交換



宇高ガバナーエレクトへガバナーキーの伝達

第56回地区年次大会を開催

「再発見踊る天国阿波の国

情熱と実行そして感動でウィ・サーズ」

4月10日・11日の両日、第56回地区年次大会が、156クラブより2136名が参加し、徳島市の「アステイトくしま」において盛大に開催された。

大会初日の10日には、徳島カントリー倶楽部月の宮コースとサンピアゴルフクラブで421名の参加を得て記念ゴルフ大会が開かれ、午後6時30分から徳島グランヴィリオホテルで3541D地区朴基奉総裁ご夫妻一行31名をお迎えして「日韓国際交流の夕べ」が開催された。

大会2日目の11日は、午前8時からの指名選挙会に続いて代議員分科会及び代議員総会が開かれ、代議員総会終了後には1階アリーナで徳島県警察音楽隊の演奏及び天水連による阿波踊りが披露された。会場入り口では美馬市脇町の三味線餅つき保存会による餅つきが行われ、また徳島ラーメンや半田そうめん、きつね寿司などが振舞われた。

大会式典は午後1時30分より高野次郎地区キャビネット副幹事と石橋雅子さんの司会により開会し、徳島県警察音楽隊の演奏、ビデオによる武久地区ガバナーの1年間の活動が紹介され、続いて37のホストクラブの代表がクラブ旗を掲げ、式典の主役である武久地区ガバナーを迎えた。客席後方にスポットライトが当たると武久地区ガバナーが令夫人宏子様とともに登場。大会参加者の大きな拍手に包まれながら大森武男大会委員長が先導し、ライオンズ旗を掲げた川辺信郎キャビネット幹事に続いて武久ガバナーと令夫人宏子様、そしてガバナーキーを携えた江口郁二キャビネット会計が登壇した。武久地区ガバナーが開会宣言し、大韓



徳島県警察音楽隊による演奏

朴総裁ご夫妻ら来賓のご紹介



武久一郎地区ガバナーの入場



大森武男大会委員長の歓迎のご挨拶



坂出シニアライオンズクラブの力強いローア



参加者全員でライオンズローア



武久一郎地区ガバナーのご挨拶

民国及び日本の国歌を斉唱、49名の物故会員のご冥福をお祈りした。来賓並びに354-D地区役員、336-A地区役員が橋本佳典地区キャビネット副幹事より紹介され、次いで新しく誕生した徳島やまももライオンズクラブ、徳島シニアライオンズクラブ、坂出シニアライオンズクラブが紹介されると、各クラブはそれぞれ力強いローアで応えた。

大森武男大会委員長は「本大会は156クラブと徳島キャビネットの活動成果を報告するとともに、336-A地区の会員が一堂に集い、交流と親睦を深める貴重な機会であり、ライオンズ精神に基づき時代に適応し地域に根ざした奉仕活動を語り合い、築き上げていく大会となることを願って止みません」と歓迎の挨拶を述べた。続いて武久地区ガバナーは「多くの皆様のご参加をいただき地区年次大会が開催できますことは無上の光栄であり、心より厚く御礼申し上げます。年次大会は1年間の締めくくりの場ですが、徳島の味を楽しみ、阿波の国の良さを満喫していただければ幸いです」と挨拶された。次いで飯泉嘉門徳島県知事、原秀樹徳島市長、近藤宏章徳島商工会議所会頭よりご祝辞をいただいた。

354-D地区朴基奉総裁は「両地区がこれからも友情と奉仕精神のもと、相互発展とライオンズクラブの発展に寄与することを期待しています」と挨拶され、武久地区ガバナーと記念品を交換した。

渡辺知彦決議委員長より代議員総会における決議事項の報告及び武久地区ガバナーより年次報告、地区ガバナーズ・アワードの発表並びに表彰が行われた。次いで大森真也指名選挙委員長が代議員総会において宇高昭造ガバナーエレクト、菅武廣第一副地区ガバナー、長谷川憲男第二副地区ガバナーが選任されたとの報告を行った。

宇高昭造ガバナーエレクト、菅武廣第一副地区ガバナー、長谷川憲男第二副地区ガバナーが大きな拍手とともに入場し、武久地区ガバナーより宇高ガバナーエレクトにガバナーキーと花束が手渡された。

最後に武知秀行大会副委員長より来年度の地区年次大会の開催地となる愛媛県四国中央市と次期ホストクラブが紹介された。星川豊次期地区年次大会委員長が次期大会への参加を呼びかけた。

荒瀬孝之元地区ガバナー・名誉顧問の発声によりライオンズ・ローアを、そして武久地区ガバナーが閉会宣言と閉会ゴングを鳴らし、第56回地区年次大会を終了した。



中所獅子舞の先導で入場



宇高ガバナーエレクトの入場



ガバナーキーの伝達



宇高ガバナーエレクトのご挨拶

宇高昭造ガバナーエレクトに選出

ガバナースローガン「明るく、やさしく、心をこめてウイ・サーブ」

大森真也指名委員長より「地区ガバナーエレクトは2リジョン3ゾーン川の江ライオンズクラブ所属の宇高昭造です」と紹介されると、会場内が大きな拍手に包まれた。宇高ガバナーエレクトの誕生した瞬間だった。四国中央市の誇る伝統工芸品「水引」を先頭に「中所獅子舞」に先導され、脇憲久次期キャビネット幹事を先頭に宇高昭造ガバナーエレクト、令夫人孝子様、菅武廣第一副地区ガバナー、令夫人鈴子様、長谷川憲男第二副地区ガバナー、尾藤稔次期キャビネット会計がスポットライトに照らされながら入場した。

演壇に上がった宇高ガバナーエレクトに武久地区ガバナーよりガバナーキーが伝達され、会場内には宇高昭造ガバナーエレクトを紹介するビデオが流れた。宇高昭造ガバナーエレクトは、「皆様の先頭に立って頑張りますのでよろしくお願い致します」と力強く挨拶された。



宇高ガバナーエレクト、菅第一副地区ガバナー、長谷川第二副地区ガバナー



ライオンマンの名誉 ガバナーズ・アワード受賞者



◆特別クラブ功労賞・優秀賞

高知鷹城LC海老塚秀和会長



◆エクステンション大賞

左より徳島城山LC白石光生会長、坂出LC秋山昇会長、石井敏雄8RRC



国際平和ポスター・コンテスト受賞者およびクラブの皆さん



最優秀賞
高知大学附属中学校
村田優未さん(代理高知北LC下村幹事)



地区ガバナー賞
四国中央市立金生小学校
井出 葵さん

◆国際平和ポスター・コンテスト受賞者



◆ライオンズクエスト奨励賞・特別賞

徳島LC松崎泰資会長



高知黒潮LC山本正久会長



高松西LC宮本里美会長

◆保健福祉・骨髄バンク
ドナー登録部門・優秀賞

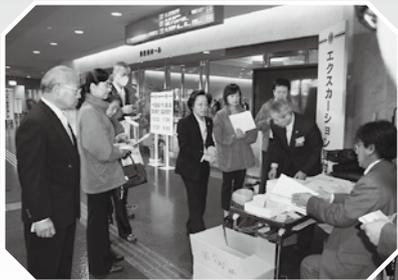


◆メンタープログラム
実行賞・優秀賞

松山つばきLC小松経子会長



情熱と実行そして感動でウィサーズ





再発見 踊る天国阿波の国



年次大会記念ゴルフ成績

◆徳島カントリー倶楽部

優勝：津川 旭様 (上板LC)

準優勝：藤岡盛明様 (松山金竜LC)

3位：谷本憲一様 (宇和LC)

◆サンピアゴルフクラブ

優勝：井上 稔様 (松山西LC)

準優勝：長尾知彦様 (高松紫雲LC)

3位：八木隆志様 (今治LC)

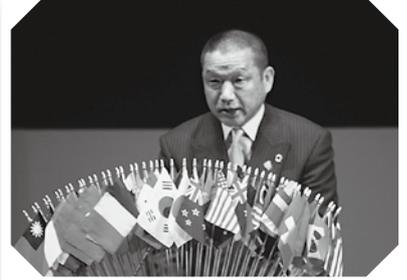


式典ハイライト



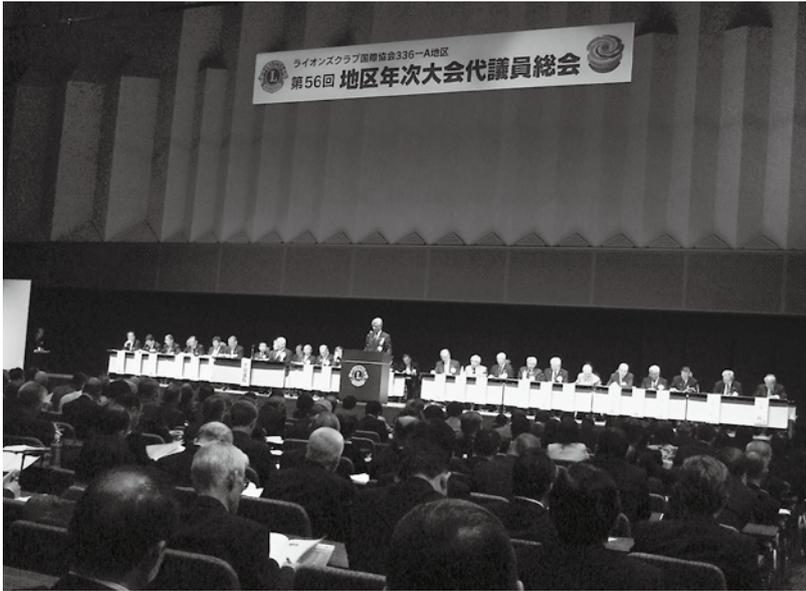


第56回 地区年次大会



代議員総会

午前10時30分～12時
アスティとくしま1Fアリーナ



代議員総会は木村圭佑キャビネット副幹事・事務局長の司会により定刻どおりに開始され、真鍋隆決議副委員長による開会宣言に続き、橋本佳典キャビネット副幹事・事務局長が大会役員を紹介した。

武久一郎大会議長(地区ガバナー)は来場の地区名誉顧問、地区役員、代議員に対し謝辞を述べた後「7議案について審議をお願い致します。少し長くなると思いますが、最後まで審議をよろしくお願い致します」と挨拶された。続いて石井敏雄資格審査委員長が「本日、517名が出席し代議員総会の成立を確

認致しました」と報告。田中節太議事運営委員長より議事規則の説明がなされ、議案(1)から(7)の審議に入った。

議案(1)について大森真也指名選挙委員長より指名選挙会の結果、2010～2011年度336-A地区ガバナーエレクトに宇高昭造氏が選出されたことを報告。続いて議案(2)の第一副地区ガバナーには菅武廣氏、第二副地区ガバナーには長谷川憲男氏がそれ

ぞれ選出され、議案(3)の2010～2012年度の国際理事候補者である山浦晟暉氏の推薦を確認した。

議案(4)は地区費・複合地区費及び負担金。議案(5)の前年度会計収支報告と議案(6)の中間会計収支報告がそれぞれ行われた。

議案(7)のクラブ提案議案については川辺信郎大会幹事より説明がなされ、小松島ライオンズクラブより提案され第一分科会で審議された「家族会員プログラムによる第2者以降の会員の会費割引制度」は否決されたが、他の全議案の承認が確認された。

総会に先立って開かれた分科会審議を踏まえ、1年間の活動報告が各委員長により行われた。

報告事項で次期ガバナーズローンは「明るく、やさしく、心をこめてウイ・サブ」、キーワードは「希望」であることが発表され、またキャビネット事務局や常設委員会及び特別委員会、次期キャビネット幹事予定者、会計予定者が紹介された。

最後に渡辺知彦決議委員長により議案決議確認が行われ、山形武志資格審査副委員長の閉会のことばで代議員総会を終えた。

(地区誌編集委員 延 善之)

指名選挙会

午前8時～9時
アスティとくしま1F第2会議室

午前7時より指名選挙会の登録受付が始まると、待ちかねたように代議員が登録を済ませ、投票所となった第2会議室に向かった。

投票所では指名選挙委員会の大森真也委員長や数人の委員が見守る中で、投票用紙を受け取り地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーへの投票を行った。投票は午前9時に締め切られ、517人の代議員が投票を行った。

別室にて開票作業が行われ、投票結果は代議員総会で大森委員長より発表された。





代議員 第二分科会

会員・会則・指導力育成・プロトコール委員会
PR・ライオンズ情報・大会参加委員会

□午前9時10分～10時10分
□アステイとくしま1Fアリーナ
司会 鳴岡孝雄キャビネット副幹事

第一分科会は山地章靖前地区ガバナリー・地区名誉顧問会議長の開会の



ことばで定時に開会した。
岡田寿夫会員・会則・指導力育成・プロトコール委員長は「今期は純増2名確保、プラス1クラブの実現、メンターシステムの活用など7項目を重点目標に掲げました。3クラブのEXTを実現し、会員数も純増42名となっていますが、6月末には数クラブの解散、会員減少が予測されており、委員長として大変申し訳なく思っております。しかし、家族会員プログラムによる、新たなクラブの姿も見えてきました」と1年間を振り返った。

横手晋一郎PR・ライオンズ情報・大会参加委員会委員長は「クラブ会報誌の充実と、メディアとの連携で記事PRを推進することを二本柱とした。数多く送られてきた広報紙からは、社会奉仕に関する

新しいニーズの掘り起こしや、他のクラブに参考にしていたきたいアクティビティも多く見つけられた。メディアとの連携、記事PRの推進では、新聞社、TV局へ事前に取材報道依頼書を提出するように勧めてきたが、記事PRも順調に増え成果が現れている」と報告した。

クラブ提出議案の「家族会員プログラムによる第2者以降の地区会費等の割引制度導入について」は、小松島ライオンズクラブの細田会長が欠席したので、代わって岡田委員長が提出議案の説明を行った。また、山地議長より「一部の文言を変更すればより理解しやすくなる」とのアドバイスも得て、提出議案は第一分科会で承認された。

本年度の活動事例の発表では、森華子小松島ライオンズクラブ会員副委員長より「家族会員としてクラブの一員となって、自分にも出来ることがあった喜び」と題し、また小松誠二丸亀ライオンズクラブ会長より「丸亀ライオンズクラブのPRについて」と題して報告があった。限られた時間の中で、それぞれの経緯と1年間の成果を発表したが、やや活動事例の報告時間が少ない点が惜しまれた。

(地区誌編集委員 眞貝 浩司)



代議員 第二分科会

青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員会
 YE・国際協調委員会
 ライオンズクエスト運営委員会

□午前9時10分～10時10分

□アステイトくしま3F第1会議室

司会 丸山満秋キャビネット副幹事

西園寺純一元地区ガバナー・名誉顧問は「最近の会員減少を止めるには、会員の連帯感とライオンズの魅力が必要である」と開会のことを述べた。

開寛青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員長は「ライオンズ



は半世紀有余の歳月を経る中で、クラブ数、会員数共に減少傾向にあり、運営もマンネリ化しており、変革の必要性がある。継続事業のみでなく新規事業も展開するべきである」と報告された。

阿部幸市YE・国際協調委員長は「YE事業は長期間の取り組みになるが、今年度は7月20日から23日まで夏期研修をA・B・C3地区合同で21名のYE生と取り組み、冬期は

12月19日・20日の2日間、いぶきの郷でスキーの研修を行った。」と報告された。

北川渉ライオンズクエスト運営委員長は「ライオンズクエストに取り組んで3年目になる。いじめや自殺等悪環境の中で、子供たちが良い事と悪い事をはっきり区別する力、自分の考えをはっきり言える力が身につくように指導をしてくださる先生方を支援している。校内型ワークショップが理想的だが、今後は単一クラブだけではなく、合同で開催することも望ましいのではないかと」の報告がありました。

続いて青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員会から山島まゆみ徳島藍ライオンズクラブ幹事が「徳

島市青少年健全育成綱引き大会継続事業を振り返って」と題し、継続事業の大切さについて報告し、次に田中勝弘東かがわライオンズクラブYE・国際協調委員長が「YE事業について」と題し、クラブ結成以来46年間に11カ国に66名を派遣し、13カ国から41名を受け入れています。皆さん



も是非受入の体験をしてください」との報告があり、最後に米川孝宏徳島ライオンズクラブライオンズクエスト委員長より南部中学校での校内型ワークショップを実施するまでの経緯を「校内型ライオンズクエスト開催報告」と題し、スライドを使って報告された。

何れの報告も、クラブ員の結束により立派な成果が得られたことを強調されており、今後の各クラブの指針となると思われます。第二分科会は3つの委員会で構成されており、時間が足りなかったように感じられました。

(地区誌編集委員 林 早苗)



代議員 第三分科会

環境保全・保健福祉委員会

□午前9時10分～10時10分
□アステイとくしま3F第2会議室
司会 山下純男キャビネット副幹事

第三分科会は宮地健三元地区ガバナー・名誉顧問の「ライオンズの原



点である本委員会の意義を大切にしていたいただき、最後まで審議をお願いしたい」とのエールが送られた。

本庄一雄委員長は活動報告の中で「武久地区ガバナーの基本方針に沿って地球環境の改善に向けた取り組み、四献運動の継続と骨髄移植推進、薬物乱用防止の呼びかけを重点項目として推進し、リジョン担当委員によるクラブ委員長セミナーでの働きかけや各クラブ会長のリーダーシップにより素晴らしい成果を上げることができました」と感謝の意を表した。また、環境改善部門、CO₂削減部門、広報活動部門、リサイクル部門とアワードの申請を行い、過去最多の59クラブが受賞されたことも併せて報告された。

献血は四国4県の赤十字血液センターと協力して「ライオンズクラブ献血推進研究会」を各県で開催するなど啓蒙に努め、その結果、献血量は昨年7月より今年3月末日までに1万2684ℓとなった。

献眼登録は既に登録済みが多く24

名と低調であったが、会員外から164名の登録をいただき、1名の方が献眼された。

保健福祉メタボリックシンドローム部門では、子ども達に対する運動の促進、食育教育、講演会などのアクティビティに対し地域社会から大きな反響を得た。

社会福祉部門はアワードの申請が多く、各クラブの特性を生かした奉仕活動や周年記念事業で社会貢献をされており、16のアクティビティを入賞とした。

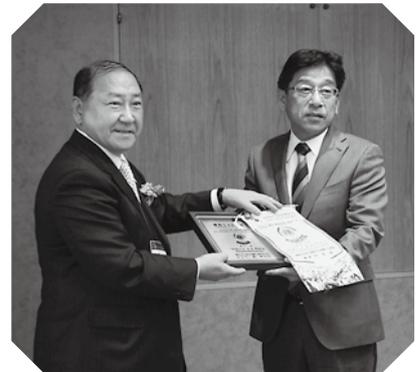
薬物乱用防止活動では「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」をリジョンチェアパーソンのお世話により四国4県で実施し、346名の認定講師が誕生した。

以上のような本庄一雄委員長の報告に次いで、松山道後ライオンズクラブより「51番札所熊野山石手寺の清掃奉仕」、志度ライオンズクラブより「コスモス祭を取り組んで」、今治東LCより「薬物乱用防止教室について」と題し、1年間の活動事例報告が行われた。報告は限られた短い時間のなかであったが、映し出されたスライドを通じて、それぞれに地域の特色を生かし、地域住民との交流が生き生きと描かれていた。

(地区誌編集委員 延 善之)



熱い思いで結ばれ



4月9日

両地区の年次大会を相互に訪問し、友好親善を深めてきた両地区は、今年も朴基奉総裁をはじめとする31名が来日され友好を深めた。

4月9日11時45分過ぎに高松空港に到着。武久地区ガバナーなど30名余りが歓迎の横断幕を掲げて出迎えた。その後、バスなどに分乗し徳島市役所で原秀樹徳島市長を表敬訪問。徳島動植物公園では小雨に見舞われたが、武久地区ガバナーと朴総裁がそれぞれハチスカサクラを植樹した。

4月10日

ゴルフや観光、ショッピングなどを楽しみ午後6時30分より「日韓親善国際交流の夕べ」が徳島グランヴィリオホテルで開かれ336-A地区から213名が出席した。朴総裁ご夫妻を先頭に354-D地区の皆さんが大きな拍手に包まれて入場し、武久地区ガバナーの歓迎の挨拶、朴総裁の挨拶の後、高知桜ライオンズクラブの二宮邦江会長の振り付け指導を受け、全員でライオンズスピリッツを熱唱。朴総裁から竹内安彦地区年次大会副委員長ら3名に、また武久地区ガバナーから李炳夏国際親善諮問役ら3名にそれぞれ感謝状が贈られた。

日韓国際交流



荒瀬孝之ご夫妻による詩吟・祝舞が披露され、両地区の友好親善を祝して乾杯が行われた。朴総裁をはじめ354-D地区の会員は、あちらこちらのテーブルを訪ね、旧知の会員同士は久しぶりの再開を祝して杯を交わしていた。言葉は通じずとも身振り手振りで挨拶し、記念品を交換する光景が見られた。

歓談が進み会場が大いに盛り上がったところで、四宮生重郎さん率いる娯座留連がよしこののリズムに乗って阿波踊りを披露。四宮さんのワンポイントレッスンの後、会場内は皆が踊る阿保となつての総踊りとなり笑顔が弾けていた。名残は尽きないが大森武男大会委員長の閉会の挨拶の後、354-D地区の皆様を盛大な拍手で見送りお開きとなった。

二次会のカラオケでは、朴総裁はじめ皆さんが楽しんでいた。

4月11日

式典開始前に一行はひょうたん島クルージングで水都・徳島を楽しまれた。式典では朴基奉総裁が挨拶を行い、武久地区ガバナーらと記念品の交換を行った。式典終了後に一行は、新緑の萌え始めた瑞巖寺を訪れお茶を楽しまれた。

数多くの日程をこなした一行は、翌日、関西空港より帰国された。

認証状伝達式を実施

徳島シニアライオンズクラブ

12月26日に結成会を行った徳島シニアライオンズクラブは、3月22日、阿波観光ホテルにて認証状伝達式を執り行った。

来賓として飯泉嘉門徳島県知事、原秀樹徳島市長、武久一郎地区ガバナーをはじめとする336-A地区役員、ブラザークラブなど150人余りが出席し、徳島シニアライオンズクラブの門出を祝った。



管生智次チャーターナイト委員長の歓迎の挨拶に次いで、武久一郎地区ガバナーより丸谷武夫会長に認証状が伝達され、会場内はひととき大きな拍手に包まれた。

武久一郎地区ガバナーは「シニアライオンズクラブは、原則60歳以上の方が一同に会し、奉仕活動を行おうとするクラブであり、

336-A地区にもようやく誕生いたしました。今後は会員増強と奉仕活動に邁進し、必ずや徳島シニアライオンズクラブの存在感を確立していくものと信じております」と挨拶。石井敏雄8R-RCがスポンサークラブを代表して挨拶された。

丸谷武夫会長は「私たちは武久地区ガバナー、岡田寿夫ガイディングライオン、石井敏雄8R-RC、佐藤貢8R-1ZZC、徳島キャビネットなど多くの方々のご支援いただき、徳島シニアライオンズクラブは、本日、認証状伝達式を執り行うことができました。20名少々での出発ですが、今後はスローガンである『和と心 結ぶ絆でウィ・サーブ』のもとに全員が力を合わせて仲間を増やすとともに、明るく安全な地域社会の発展に尽力してまいりたいと思います」と力強く今後の活躍を誓った。

横田文博記念事業委員長から徳島市総合動植物公園内に環境保全と訪れた方々の憩いを願い、しだれ梅を記念事業として植樹したとの報告が行われた。

飯泉嘉門徳島県知事、原秀樹徳島市長、荒瀬孝之元地区ガバナー・名誉顧問がそれぞれ祝辞を述べられ、懇親会に移った。

三木一志式典・祝宴事業委員長の開宴のことに続き、若柳吉久史さんが祝賀の舞を披露され、山形武志9R-3ZZCの発声により乾杯。歓談では丸谷会長はじめ会員が各テーブルを廻り、名刺交換などを行う姿が、初々しくとても印象深いものがあつた。

シニアライオンズクラブ

坂出シニアライオンズクラブ

5月30日、坂出グランドホテルで坂出シニアライオンズクラブの認証状伝達式が開かれ、綾宏坂出市長、武久一郎地区ガバナー、山地章靖地区名誉顧問会議長など地区役員、5R-2Zおよび5R-1Zの各クラブ三役、スポンサークラブの坂出ライオンズクラ

ブのメンバーなど120名余りが出席し、新クラブの誕生を祝した。若杉俊明チャーターナイト委員長の歓迎の挨拶に続いて、武久一郎地区ガバナーより齊藤義明会長に認証状が伝達されると、坂出ライオンズクラブからひときわ大きな拍手が送



られた。

武久ガバナーは「坂出シニアライオンズクラブが誕生しましたことを、大変喜んでおります。シニアライオンズクラブは各種の登録料など、幾つかの解決すべき問題を抱えてはいますが、今後のご活躍を期待しております」と挨拶。スポンサークラブの秋山昇坂出ライオンズクラブ会長は「1年余の努力が実り、エクステンションでできましたことに感激を致しております。今日は出発点であり、これからもスポンサークラブの役目を果たしていきたい」と挨拶。

齊藤義明会長は「坂出ライオンズクラブの皆さん、そして徳島キャビネットの役員の方々など多くの方々の助力によって、認証状を受け取ることができました。これに満足することなく会員一人ひとりが力を合わせ、シニアライオンズクラブらしい貢献を地域社会にしていきたいと思えます」と謝辞を述べた。

記念事業として坂出市にリクライニング式車椅子2台を寄贈したことが発表され、山地章靖地区名誉顧問会議長は「素晴らしい記念事業ですが、これに満足することなく、さらに会員同士の絆を強め、地域に根ざした奉仕活動に取り組んでいただきたい」とエールを送られた。

緊張した認証状伝達式を終え、懇親会では坂出シニアライオンズクラブと出席者との懇談が続いたが、「また会う日まで」を全員で歌い、真鍋隆5R-1RCのライオンズ・ローアでお開きとなった。

第9回ライオンズクラブ

全国SAKURAFORUM IN 高知

3月22日に高知県南国市のサザンシティホテルで9回目となるSAKURAFORUMが開催された。SAKURAFORUMへの参加資格

は、「同名(SAKURA)ライオンズクラブでかつ女性のみで構成されたクラブ」とあり、約100人の参加者は当然女性ばかりであった。

その中に橋本充好6R-RCと岩原常男6R-1ZZC、それに私の3人の男性が加わった。

今回より京都チェリーLCおよび愛知さくらLCが加わり、北海道から九州まで7クラブが参加し、会長会、講演会、フォーラム会議、交流会と多彩な催しを用意されていた。

講演会は『始まった「龍馬伝」—いごっそうに生きる—』と題し、高知県立坂本龍馬記念館の森健志郎館長が、NHKで放送の始まった「龍馬伝」と史実の違い、あるいはブームとなった坂本龍馬の魅力などについてユーモアたっぷりに約1時間関わって講演された。

フォーラム会議では東京、福岡、姫路、帯広、京都、愛知、

そしてホストクラブの高知より今年度の活動状況や会員の動向などの報告が行われた。東京桜LCは1988年3月に結成されており、日本で結成された最初の女性クラブであることを知った。現在の会員は15名だが、「少人数でも知恵を出し合って努力する」をスローガンに頑張っていた。福岡桜LCはライオンズクラブの歴史をDVDに編集し、会員以外の方に積極的なPR活動を展開していた。姫路さくらLCは昨年のホストクラブで、今年15周年記念大会を行い、家族会員も5名在籍する。

帯広さくらLCは会員10名という小さなクラブだが、桜の植樹や小中学生を対象にした薬物乱用防止講座を開くなど、北の大地で地域に根ざした奉仕を続けている。京都チェリーLCは会員数61名、2004年1月結成だが、チャーターメンバーが30名おり、DV被害者支援など女性の視点からのアクティビティを続けている。最も若い愛知さくらLCは4

市2町という広い地域でクラブを立ち上げ、子守歌の継承や各市町村への桜の植樹を続けている。ホストクラブの高知桜LCは、ライオンズ・スピリットを日本語訳しその普及に努めたり、今年にはライオンズ・メンタープログラムに取り組み、留学生を対象とした国際交流、桜のテングス病治療、植樹など多彩なアクティビティを行っている。

各クラブからの報告を聞いての率直な感想は「男女比が逆転して、将来、男性だけのクラブがフォーラムを開くかもしれない」というもので、

市2町という広い地域でクラブを立ち上げ、子守歌の継承や各市町村への桜の植樹を続けている。ホストクラブの高知桜LCは、ライオンズ・スピリットを日本語訳しその普及に努めたり、今年にはライオンズ・メンタープログラムに取り組み、留学生を対象とした国際交流、桜のテングス病治療、植樹など多彩なアクティビティを行っている。





高知桜LCの取り組んだ ライオンズ・メンタープログラム

SAKURAフォーラム開催前の多忙な時間を割いて、高知桜LCの取り組んだライオンズ・メンタープ

ログラムについて、二宮邦江会長、井上祐鳳幹事、足達禎子ライオンテーマ、山崎宏子会員理事、細木膺子元会長にお話をうかがった。

メンタープログラムに取り組むきっかけは、昨年6月の三役スクールで紹介されたことによるもので、まず二宮会長が『ライオンズ・メンター・プログラム』の日本語訳を取り寄せ準備を始めたそう。レベル1とレベル2の取得を目標とし、2005年以降の入会者9名がプロジェクトとなり、会長経験者やスポンサーがメンターとなり、8月から取り組み始めた。今回の成功の大きな要因は、プロジェクトとメンターのペアリングにあったという。同じビル

各クラブのエネルギーシユな活動に圧倒される思いであった。その熱気は交流会ではさらに熱くなり、各クラブの踊りや合唱、一番驚かされたのはハワイアンダンスで交流会は最高潮に達した。交流会のフィナーレは、全員で踊った高知のよさこい鳴子踊り。

私は福岡桜LCの西川とも多さんと同席した。彼女は2RのPR誌の編集員をしており、その熱い胸の内を耳と杯を傾けた。

フォーラム旗が二宮邦江高知桜LC会長より次のホストクラブの帯広さくらLCに伝達された。ライオン・スピリット、またあう日までを

全員で合唱し、池小夜子帯広さくらLC会長のライオンズローア、市村佳子高知桜LC第一副会長の閉宴のご挨拶でお開きとなった。

7クラブによる記念合同アクティビティとして、1月26日に高知県立美術館庭園に一葉と関山を植樹した。(地区誌編集委員長 関 勝美)

で仕事をする方がペアとなり、お互いにわずかな時間を見つけたり、例会后に時間をとって勉強したという。先輩が上手にリードし、ストレスを双方が感じることなく進められたそう。プロジェクトの何でも吸収しようという積極さもあったが、メンターもまた『ライオン必携』や『ライオン誌』の「ライオンズ検定」などを利用してオリジナルテキストを作り活用したという。勉強を進める

一方で、クラブとしての共通認識の醸成や新会員に疎外感を抱かせない配慮を、二宮会長をはじめとするベテラン会員が常に怠らなかつた。

メンタープログラムが、退会の防止に役立つのは確かだ。しかし、それは結果であって、むしろ全ての会員がライオンズクラブの仕組みや目的について新たに学ぶ機会を得たことの方が大きな成果であったとも

仰っていた。指導者あるいは後継者を育てるということは、自分が育っていくことに他ならない、ということなのであろうか。

お話をうかがった方は全員がレベル2の修了者であり、5名がレベル1を修了した。そして、地区ガバナリアワードでメンタープログラム実行賞優秀賞を授与されたが、国際協会から認証されての受賞は高知桜LCだけではないだろうか。

次年度以降もメンタープログラムに取り組むかは未定というが、少なくとも経験と知識はクラブの財産として引き継がれていく。退会者はゼロではないが、家庭の都合であってクラブが嫌になつてではないと言いつつ、出席率も80、90%が当たり前という。会員の皆が「高知桜ライオンズクラブが大好きなの」と言えるクラブは多くはないだろう。



趣の異なる韓国 の年次大会

—韓国354-D姉妹地区を訪問—

地区キャビネット幹事 川 辺 信 郎

1988年に336-A地区と354-D地区との友好親善が締結されて以来、相互訪問が続いております。本年2010年4月開催の336-A地区年次大会に354-D地区朴基奉総裁ご夫妻はじめ31名の会員が来徳されました。言葉の壁も通訳の方々のお陰で、親しく友好を深め合い徳島を楽しんで頂き、再

会を約束してお別れしました。そして5月4日、336-A地区訪韓団一同が各地より岡山空港に参集し、武久一郎地区ガバナーによる結団式の後、354-D地区年次大会に参加するため、ソウル仁川空港へ向かいました。昼前に到着し、見知りの顔々に出迎えて頂き、地区年次大会の会場、ソウルシテイセン



ターへ。

朴総裁の主題「Dream & hope Through Sharing」のもとに開催された2時間ほどの式典に参加。終了後は宿泊地のパレスホテルに

チェックイン。1時間程の休憩の後、354-D地区の次期役員披露パーティーに招待され美酒美食、そして友好を深めました。

翌5日は354-D地区自慢の通称子供交通公園「児童交通安全教育院」を訪問。ここでも朴基奉総裁ご夫妻ほか元地区ガバナー・国際理事など大勢の会員の出迎えを受け、武久一郎地区ガバナーの記念植樹・碑除幕式、松本勤元地区ガバナーの記念植樹・碑除幕式を行い、全員で記念写真に納まりました。

その後、広大な華城内宮殿を観光。当日は韓国も「子供の日」という事で大勢の家族連れで賑わっていま

た。「大長令」の撮影された現場や古い城の石積み建築を見学し、昼食には薬膳料理の「サムゲタン」に舌鼓をうちました。夜は郊外のレストランで自慢の「焼肉」と「マッコリ」を十二分に堪能し、2時間後は宿泊先のホテルへ帰り、12階のホールでカラオケ大会。先方の計らいで荒瀬孝之元地区ガバナー夫妻のサプライズア婚をお祝いするケーキが用意されており、楽しい大サプライズで盛り上がり、最後は参加者全員が輪となり大合唱で幕を閉じました。

翌6日には、354-D地区の方々に見送られ、ソウル市内の観光、見物に向かいました。

相互訪問により両国の友好親善という目的の成功を充分感じながら仁川空港を後にし、19時50分、岡山空港に到着、入国手続きを済ませ解団式を行い帰途につきました。



委員会報告

わが活動を振り返って

会員・会則・E・X・T・指導力育成・プロトコール委員会

委員長 岡田寿夫



性化。

③女性・若年層・団塊の世代の人に魅力あるライオンズクラブを創造し、クラブ会員一丸となって入会を働きかける。

④E・X・Tはクラブ最大のアクティビティ、プラス1クラブの実現。

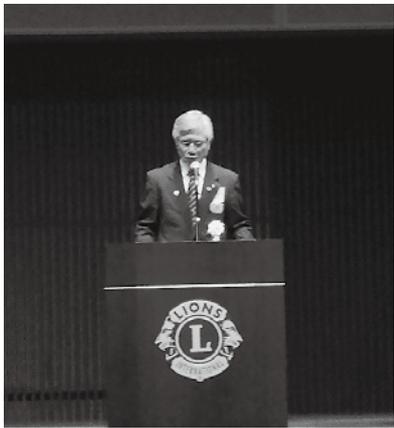
⑤退会防止はクラブの重要課題、メンテナンスの取り入れと活用。

⑥会則は遵守するもの、しかしそれぞれのクラブの独自性も発揮しよう。

⑦プロトコールはしっかり熟知し、国旗・国歌を大切にしよう。

各クラブのご理解のもと、2010年4月末においては、3クラブのE・X・Tを実現、会員の動静についてもクラブ数157、会員数5946名、期首から純増42名となっておりますもの、6月末には数クラブが解散し、会員減少が予測され、大変危惧しており、また申し訳なく思っております。

一方で朗報としては家族会員プログラムによる、家族会員の入会も



委員会報告

1年間の成果と課題

PR・ライオンズ情報・大会参加委員会

委員長 横手晋一郎

あつて当該クラブでは「新たな息吹・明るく楽しい例会」がすすめられております。

さる、4月11日に開催された第56回地区年次大会において、「第2者以降の家族会員の地区会費半額割引、地区大会費免除」を次年度から

実施するという決議がされましたことを追記させていただきます。

残任期間もあつたかとなりまして、各クラブのなご一層のご理解・ご協力、会員の皆様のご健勝を祈念し結びといたします。ありがとうございました。

今年度、当委員会では、次のような方針で活動を進めてきた。

①クラブ会報誌の充実
会報誌の発行は1ヵ月1回以上を

目標として、会員への情報誌としてだけではなく、隔月外部向け仕様を目ざし、地域の人々にも会報誌を配

布し、ライオンズクラブを正しく理解し認識してもらおう。

②メディアとの連携で、記事PRを推進する。

これらを活動の二本柱として、昨年の4月19日をスタートに、委員会を4回開催した。各リジョンの地区委員及び担当副幹事には、まずクラブ委員長スクールで委員会方針を周知していただいた。ガバナー諮問委員会や、クラブ例会訪問など多くの機会を通じて、PRについての方針の普及、指導をしていただいた。

私のところには、毎月40冊あまりの会報誌が送られてきているが、ホームページやインターネット配信も増えつつある。内容については、

ライオンズクラブに対する理念、思いをしつかりと表現した格調高いものから、多くの事業を写真でつづつた見て楽しい会報誌、LCIFによる被害地支援活動や、平和ボスターコンテスト、地域での植樹、清掃奉仕、献血キャンペーンといった環境保全保健福祉事業、キャビネットの動向などを、わかりやすく表現された多くのすばらしい会報誌に出合った。社会奉仕に関する新しいニーズの掘り起こしもあり、参考にしていただきたいアクティビティも多く見受けられた。

発行回数は年間12回が28クラブ、6回が10クラブ、4回が25クラブ、他は3回、2回、1回で、未発行クラブも10%程度あった。会報誌の外部配布先は公民館、市町村役場、図書館、銀行、病院、郵便局などで、74%のクラブが地域の会員外の人たちに配布し、読まれている。

メディアとの連携、記事PRの推進では、新聞社・TV局へ事前に取材報道依頼書を提出するように勧めてきた。依頼書には、あらかじめアクティビティの主旨、内容をまとめて書いておくと、取材に応じてもらいやすいようである。

アンケートによると、取材報道依頼書を提出しているクラブが54、往

訪して口頭で依頼するが45クラブ、電話で取材依頼するが3クラブであった。また、別のアンケートでは、マスコミの報道回数215回のうち、159回(74%)が依頼書提出分であった。

このように、地区委員の皆さんの熱心なご活躍のおかげで、クラブ会報誌も次第に充実しており、また、マスコミ報道による記事PRも順調に増えている。最も大切なことは、マンネリ化した継続事業だけでなく、

く、よく工夫をして地域社会のニーズに合った、地域貢献度の高いアクティビティを進めていくことである。それが会員増強にもつながっていく。

地域社会の一員としてウィ・サーブ

委員会報告

青少年・LCIF市民奉仕・児童奉仕委員会

委員長 開 寛

ライオンズクラブがアメリカのカゴ市で誕生し(1917年)1世紀を迎えようとしています。日本においては1952年3月に東京ライオンズクラブが誕生して半世紀の歴史を刻んできました。

今では日本全国に3300余りのライオンズクラブが結成され、それぞれの地域社会において世界最大の奉仕団体として多大な貢献をされています。

しかしながら近年の日本におけるライオンズクラブの情勢を見てみると、クラブ数、会員数ともに減少傾向にあります。これらの要因として挙げられるのが、一昨年のリーマンショック以来の世界的な経済不況という物理的な影響とともに、各ライオンズクラブにおいて運営がマンネリ化し、ライオンズクラブに対する魅力が薄れてきたのかもしれない。昨年、日本の政権も交代しましたし、今は変革の時機を迎えているように思われます。これからのライオ

ンズクラブの運営も、市民感覚、価値観の多様化の進む中で変革すべきものかもしれません。

このようななかで、昨年の7月に3361A地区において「ライオンの未来に、情熱と夢を持ってウィ・サーブ」をガバナースローガンとして、武久一郎地区ガバナーが誕生し、徳島キャビネットが船出いたしました。私も徳島キャビネットの一員として参画することになり、幹事や副幹事、地区委員の方々などのご支援、ご協力をいただき無事に任務を終えることができそうです。

振り返ってみますと、昨年の6月から各リジョンにおいて委員長スクールが開かれ、私もガバナーの運営方針を伝えるため講師として参加しました。各クラブの委員の方々から昨年度の事業実績、今年度の事業計画などの報告を受けて感じたことは、各クラブとも青少年健全育成を主眼としたスポーツ大会や講演会など、地域に根付いた活動を積極的に





委員会報告

1年間を振り返って

展開していることを知るとともに、会員の方々の熱い思いが伝わってきました。

国際平和ポスターコンテストは、参加クラブ数112、応募総数4786点、296校の参加を得て実施できましたことに感謝いたしております。今年の参加作品はレベルが高く、審査委員も難行の審査でしたが、当地区の最優秀作品は複合地

区でも最優秀を獲得し、さらに国際大会においても優秀賞を受賞したことは特筆すべきことです。

次年度においては全クラブがコンテストに参加されることを期待いたしております。

LCIFにつきましては、大変厳しい経済状況の中にもかかわらず、多くの会員の方々に協力いただき、多大な成果がありましたこと

を感謝いたしております。

これからも地域社会のニーズに適した事業計画を積極的に取り入れ、地域住民の方々にもわかりやすく、親しみやすい活動を展開すれば、ライオンズクラブの価値が高まり、会員増強の礎になると思います。

最後に各委員、そして多くのご協力をいただいた皆様に感謝して私の報告とさせていただきます。

4部門の内、環境改善部門へのアワード申請が最も多く、クラブにおける関心の高さが窺えました。

環境保全フォトコンテストでは、地区選出作品が複合地区でも最優秀作品に選ばれ国際本部で審査されています。

次に保健福祉部門は、今年度も四献運動（献血、献眼、献腎、骨髄移植）の継続、社会への保健福祉、薬物乱用防止の3項目を重点に取り組みました。

献血は全クラブで取り組んで頂けるようにと、各県の赤十字血液センターと協力して「ライオンズクラブ献血推進研究会」をそれぞれ開催致しました。今年4月までの3361A地区の総献血量は1364万4200cc、成分献血9488人でした。検眼登録は既に

登録済み会員が多く24名と低調でしたが、一般から164名の登録があり、また1名の方が眼球を提供致しました。

献腎登録については会員2名、一般6名の登録がありました。臓器の提供はありませんでした。骨髄バンクへのドナー登録については、会員の高齢化が進む現況下で、この活動の衰退防止策として、今期初めて率先して若年会員に登録をお願いし、3クラブから合計9名の登録を頂きました。今後の発展に繋がることを期待しています。

次に保健福祉のメタボリックシンドローム部門で取り上げた糖尿病、肥満予防、禁煙は各クラブで毎年提唱され実践されてはいますが、会員の率先した成人病予防対策としてのアクティビティは少ないように感じられました。

社会福祉部門については、環境保全部門について多くのクラブがその特性を生かした奉仕活動や周年記念事業で社会奉仕に貢献していただき、本当に頭が下がりました。

薬物乱用防止活動についてはですが、これまでは青少年の健全育成の一環として「薬物乱用防止キャンペーン」を実施したり、保健所と協力してグッズを配布してありました

武久ガバナリーの運営基本方針を基に、①地球環境の改善に向けた取り組み、②四献運動の継続と骨髄移植の推進、③薬物乱用防止の呼び掛け

を重点目標に掲げ活動してまいりました。当委員会活動はライオンズのモットーである「ウィ・サーブ」を具現・実行するに最も相応しく、クラブ会長のリーダーシップと会員の皆様のご協力により素晴らしい成果を上げることができました。

環境保全は、一昨年の異常気象など経済活動を優先し過ぎたツケが人類にまた地球環境に噴出した年でした。そこで地域に密着した奉仕活動で環境の改善と保全に取り組んで頂きました。その結果、環境改善、CO₂削減、広報活動、リサイクルの

委員会報告

校内型ワークショップを実施

ライオンズクエスト運営委員会

委員長 北川 渉

が、昨年度に(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターと共催で実施した「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」を四国4県で実施し、合計346名の認定講師が誕生いたしました。今後、各学校において「薬物乱用防止教室」の実施が期待されます。最後に今回ご提出頂いたアクティ

ビティを拝見して資金の多寡、質、内容、クラブ事情など会長のご努力とご苦労を伺い知ることができました。各RC、ZC、委員の方々には大変お世話になり有り難うございました。そして共に汗することができたことを嬉しく思っています。

今年度3361A地区では、ライオンズクラブ国際財団(LCIF)より二度目のLCIF四大交付金の

一つである、ライオンズクエストについて交付を受け、再度2年間、地区内への事業普及活動に取り組んできました。

このプログラムは現代社会が抱えるいじめ・不登校・校内暴力の減少に寄与するとともに、思春期を迎える子ども達がスキルを身に付け、同時に保護者や地域の教育力を高めることに貢献します。

2009-2010年度は、新たに徳島ライオンズクラブ、鳴門ライオンズクラブの2クラブが加わりワークショップが始まりました。特に徳島ライオンズクラブは、MD1336地区内で初めて公立中学校



(校内型)に導入され、大きな反響を呼んでおります。そして、坂出ライオンズクラブも2010年8月には公立中学校(校内型)に導入することが確定しており、地区内では僅か3年足らずではありますが、皆様の深いご理解のもと、ここまで浸透して参りました。

また、高知では高知とさみずきライオンズクラブが中心になり、市内4クラブが加わり5クラブ合同として(公募型)ワークショップを開催し、次年度も同様に開催予定です。

このように、ワークショップ実施数が増える一方で、交付金だけでは

資金不足となる問題が新たに発生しており、今後は携わっているクラブ及び地区全体としても、活動資金獲得を考えていく必要があります。単一クラブではなくゾーン・リジョンで取り組んでいただけるようお願い申し上げます。

今期も他クラブへの講演活動や相互に協力した研修会の実施を通して、クラブ会員のライオンズクエストに対する理解度を深める事が出来ればと考えています。

最後に、大勢の皆様のご理解、ご支援に対しまして厚く御礼申し上げます。

委員会報告

かけがえのない国際交流体験

Y.E.国際協調委員会

委員長 阿部 幸市

1年間の任期を終えるにあたり、その報告と私を感じたことを述べてみたいと思います。

YE事業は言葉も習慣も違う国々から若者達を受け入れ、また派遣するので、引き継ぎや準備段階、そしてホームステイからサマーキャンプ、ウインターキャンプまで3361A、B、C地区の各ガバナーや副

地区ガバナーをはじめ地区役員や委員、そしてホームステイを受け入れてくださったライオンの皆様方に大変お世話になりました。

今振り返って一番心に残っていることは、7月のサマーキャンプでの閉村式で別れを惜しみ握手をしたり、中には涙を流し抱き合ったりしていたYE生たちの光景です。この



光景は3日間寝食をともにした役員の方々にとっても、印象深いものであったと思います。

YE生の中には歩き遍路を体験した研究熱心な若者や芸妓の格好がしたいと京都まで行き芸妓に扮し記念写真を撮ったYE生もいます。ホストファミリーの方々は食生活、習慣、言葉の違いを越えて、それぞれの好みに合わせるためのご心配や気遣いなど、大変なご苦労をおかけし、お世話いただいたことに対し厚く御礼申し上げます。

また各クラブにおかれましては、例会訪問に際しての歓迎会やレクレーションなど地元との交流を通じて、さまざまな国際交流ができましたことにに対し、委員会一同が感謝しております。

ウインターキャンプは336-B地区のお世話で、岡山県新見市の新見千里スキー場に15名の若者達が集いました。12月18日の開村式では上原正樹336-B地区YE委員長の歓迎のご挨拶、各地区ガバナーよりのご祝辞、そして松本正福336複合地区YE委員長より心温まるご挨拶をいただきました。当夜は上原正樹336-B地区YE委員長などが中心となってYE生とゲームなどに興じ、交流を楽しみました。降り続いた雪も翌朝には止み、YE生たちには最高のスキー日和となり、スキーキャンプを楽しんでいました。

当委員会では実施している国際交流は「お世話が大変だね」と、敬遠されていることも伝え聞いておりますが、お別れの際の感動やその後のお礼状や写真など、お世話の大変さを大きく上回るものがあります。国際交流の体験は私たちライオンズクラブにとりましても、かけがえのない大きなものを残してくれたように思っております。

至らぬ点が多々あったことをお詫びするとともに、各地区ガバナーはじめ委員の皆様方、そしてライオンズクラブ関係者に大変お世話になりましたことを深謝申し上げます、ご報告とさせていただきます。

6月10日、徳島キャビネットと四国中央キャビネットの内局業務の引継研修会が徳島グランドホテル借楽園で開かれた。

徳島キャビネットから武久一郎地区ガバナー、川辺信郎キャビネット幹事、江口郁二キャビネット会計、地区委員長、地区キャビネット副幹事ら30人が出席。四国中央キャビネットから菅武廣第一副地区ガバナー、協憲久次期キャビネット幹事、尾藤稔次期キャビネット会計、次期地区委員長、次期地区キャビネット副幹事ら30人がやや緊張の面持ちで出席した。

武久ガバナーの挨拶に続き、地区運営、内局運営、財務運営、事務局運営などそれぞれの任務に分かれ、およそ



内局業務引継研修会



1時間の予定で引き継ぎを行った。昨年、引き継ぐ荷物の余りの多さに驚き、今回は必要最小限に留めた。引き継ぎ時間が長かったように感じた昨年と違って、今年はこのグループも真剣な話し合いが行われ、次期キャビネットの意気込みが伝わってきた。

総括で武久ガバナーもこの点に触れ、次期キャビネットに大いなる期待を致しますと締め括った。

懇親会では宇高ガバナーエレクトが、「まだお聞きしたいことがあり、安心はできません」と挨拶され、次期担当者には熱心に情報を集めていた。役目の終わった安堵感とこれから始まるという緊張感の交差した引継研修会であった。

大洲LC結成50周年記念大会

実行委員長 古森 敏夫

3月7日の記念大会は、先輩諸氏が営々として築きあげてこられた50年という歴史の重みを感じつつ、それにふさわしい記念大会にということから、コンセプトを「シンプルにそしてスマートに」とし、お客様に「今日の大会は良かった」と思ってもらいたきたいという思いで企画いたしました。

音楽と映像で場面展開に変化をつ



け「時間があつという間に過ぎた」と思わせるような演出をしようと、何度もシナリオを書き換え、リハーサルをしました。また、式典から祝宴に移るための待ち時間にも、ロビーでビールやコーヒー等で接待し、お客様は「待たされている」という感じなく過ごせたと思っています。

式典での歓迎の挨拶はチャーターメンバーの平田と榊田に、そして祝宴での乾杯は大正14年生まれで

「時間があつという間に過ぎた」と思わせるような演出をしようと、何度もシナリオを書き換え、リハーサルをしました。また、式典から祝宴に移るための待ち時間にも、ロビーでビールやコーヒー等で接待し、お客様は「待たされている」という感じなく過ごせたと思っています。

北島LC結成20周年記念大会

会長 江 富 久 雄

平成22年3月14日、徳島ワシントンホテルプラザにおいて記念大会を

総勢150名の方々をお迎えして盛大に開催しました。開会、ゴングに引き続き、大会委員長、会長の挨拶があり、記念事業を発表し、ご来賓の飯泉嘉門徳島県知事、古川保博北島町長、宇高昭造第一副地区ガバナーのご祝辞をいただきました。厳粛な

当クラブの最年長の城戸にお願ひしました。メンバーが本当に一つになって挙行できたことに感謝していますが、実行委員会の総務委員長であった松井哲俊氏が、前日の記念ゴルフのプレー中に亡くなられたことが本当に残念です。

ご冥福を心よりお祈りし、記念大会が無事に終わったことをご霊前に報告させていただきます。

《記念事業》

- ・大洲市立図書館新築に伴い図書及びソナー式電波時計を寄贈
- ・大洲少年少女合唱団へ制服を寄贈
- ・ハイチ大地震の救援金として1000ドルをLCIFへ

霧囲気のなか記念式典は1時間余で終了し記念祝宴へと移りました。

祝宴委員長の開宴のことばに続

き、川辺信郎キャビネット幹事の乾杯のご発声により祝宴が始まりました。おめでたい日舞に始まり和太鼓の演奏、カラオケそして、ファッションショーと息継ぐ間もないくらいの高余興があり、テンションが最高潮に



達した名司会で場内は興奮の坩堝と化しており、ラッキーカードの抽選会でさらに盛り上がりました。最後はお決まりの阿波踊りとなり、舞女流華連という淡路島の連にお願いしていた踊りは、本場徳島をものぐ出来映えでした。フィナーレは全員による総踊りとなり20周年記念大会は無事、華やかなうちに開きとなりました。

《記念事業》

- ・植樹(杏の樹135本)
- ・AED寄贈
- ・「ザ・サニーサイドジャズオーケストラ」によるチャリティコンサート



伊予三島法皇LC結成30周年記念式典

会長 一柳 美枝子

当クラブの結成30周年記念式典は川之江中央ライオンズクラブと合同で、3月27日に多くのご来賓をお迎えして行いました。

四国中央市が過去翠波高原で整備を進めてきた第三花園(約6000㎡)に、多くの市民ボランティアを募り、協働作業を実施して「みつまたの里」を作ることを目標に、伊予



三島法皇ライオンズクラブ結成30周年の記念事業として取り組んでまいりました。

平成22年2月27日の植え付け場所の印付作業、3月14日の植え付け当日には3Z内ブラザークラブからも会員が参加して下さいました。三島高校や多くの市民の参加を得て無事終了することが出来ました。

また、三島高校書道部並びに美術

川之江中央LC結成20周年記念式典

実行委員長 寺尾 保仁

3月27日に結成20周年を迎えることができました。結成当時60数名いた会員も現在は30名、内チャーターメンバーも10名足らずになってしまいました。若いメンバーと共に20周年記念式典を晴れやかな気持ちで迎えることができました。

周年事業もいろいろと思案致しましたが、石川会長の希望である一般の方にライオンズクラブの活動を理

部の協力をいただいで、「みつまたの里」と大書した看板を制作することが出来ました。

今後、雑草対策として歩行型草刈機1台を導入し、将来はみつまたの収穫に合わせ、小中学生を対象にした手漉き和紙作りの体験学習を実施したり、書道部に和紙の提供などをしていと考えております。

紙のまち「四国中央市」の発展の礎となった和紙の原点を思い起こすと共に、中山間地域の耕作放棄地対策のきかけになれば幸いです。

《記念事業》

「みつまたの里」整備事業

解していただき、なお一般の人達を巻き込んだボランティア活動ができないかという事で、レクレーションバレーボール大会を開くことになりました。そして、大会参加費の代わりに眼鏡のリサイクルに協力していただくことになりました。大会当日には100個以上の不要になった眼鏡が集まりました。

式典は伊予三島法皇クラブと合同



で行いました。前回の15周年も合同で行い、それぞれが式典と懇親会を担当して行いました。それぞれの開催予定日が近く、近年の諸状況を考えると、お客様に毎週同じ会場にご足労をおかけするよりも、一回の方が気持ち良く来ていただけるものと、今回も合同で開催致しました。お互いの担当により力を注ぐことができ、結果的にも満足のいく会となり、参加していただいたご来賓の方々にも喜んでいただけたと思っております。

《記念事業》

川之江中央ライオンズクラブ杯レクレーションバレーボール大会

高松屋島LC認証45周年記念大会

会長 池田 正

45年前のチャーターナイと同じ3月28日に高木孝征香川県副知事、大西秀人高松市長をはじめとするご来賓の方々、ライオンズクラブ国際協会谷野徹元国際理事、稲崎国延4R-RCをはじめとする地区役員の方々、スポンサークラブ、ブラザークラブ、姉妹クラブの神戸須磨ライオンズクラブと下関西ライオンズクラブ、記念事業関係者の皆様方などたくさんのご出席を賜り、当クラブの認証45周年記念大会を高松国際ホ



テルにて開催いたしました。私たちのクラブは高松で4番目のクラブとして誕生し、チャーターメンバーの一人として、感慨深いものがあり、また当時のことが昨日のことのように思い出されました。式典ではご来賓やスポンサークラ

坂出LC結成50周年記念式典

会長 秋山 昇

ブの金倉輝明高松栗林ライオンズクラブ会長よりご祝辞をいただき、また祝賀会はトライアングルファミリーの演奏で宴の幕を開け、当クラブのメンバーである中村輝彦ライオンが日本抜刀道連盟制定刀法演武を披露するなど和やかな祝賀会となりました。これからも私たちのクラブは、歴代会長が守り続けてきた遺産を引き継ぐとともに「何を守って何を改革するか」に尽きます。夢と誇り(自信)

平成22年4月4日、午前5時30分起床。まず居間の雨戸をあけ外の天気を見る。快晴、気分爽快、元気を出して長い一日を頑張ろうと背伸び体操を行う。

11時、本日のメイン会場である坂出市民ホールに到着。もうすでに多くの仲間が会場の設営準備に余念がない。正午になり遠来からの客をもてなすためホール入口付近に集合、お客様の入場が始まる。

13時45分定刻となり、50周年記念式典の幕が開く。式典中、出番が多

く緊張するが、なんとか無事にこなし終了する。

以上、式典当日の朝から終了までを書いてみたが、たいした事故もなく無事終了できたことが一番の収穫であった。

私どもは丸亀ライオンズクラブのスポンサーにより香川県で4番目のクラブとして1960年4月に結成し、今日に至っている。

特に本年は50周年のゴールドアニバーサリーであり、1年以上前から関係者が集まり周な準備作業を進

持つて前に進めたらと思っています。また「今日のため、明日のために」クラブの全てのメンバーが邁進していくものと確信をしております。

《記念事業》

- ・小学生音読大会
- ・玉藻公園披雲閣にて「秋の茶会」
- ・「第2回高松国際ピアノコンクール」2010の後援
- ・屋島山上「県木園」の清掃奉仕
- ・第10回ジュニアアテニスストーナメント大会の開催



めてきました。その結果、4点のアクティビティを重点項目として取り組み実現させました。



4月25日、結成20周年記念式典ならびに祝宴を、「深めよう愛の絆をウィ・サーブ」の大会スローガンのもとに西条国際ホテルにおいて開催されました。式典には武久一郎地区ガバナーはじめ地区役員、関係各位180余名の方々にご参集をいただき、淡交会西条支部の皆様にお茶席

の用意をして頂き、なごやかに待ち時間を過ごして頂きました。11時30分に予定どおり会長ゴングで式典を開始し、3名の物故会員に対する黙祷、真鍋敏朗大会委員長の歓迎の挨拶を、そしてクラブを代表し日野会長がお礼の挨拶をしました。20周年記念のメイン事業である

「新日本フィルハーモニー交響楽団による西条市特別公演」の成功に対し、ご来賓の方々から賛美のお言葉をいただきました。スポンサークラブの西条ライオンズクラブへ感謝状と記念品を、西条市図書館へ目録を贈呈し、約1時間の式典を終了

西条石鎚L.C結成20周年記念式典

実行委員長 日野逸司

私ども坂出ライオンズクラブは、この50周年を一つの通過点としてとらえ、今後とも地域に愛され必要とされる奉仕団体として地道な活動を継続してまいりますので、ご指導、ご支援をお願いいたします。

《記念事業》

- ・坂出シニアライオンズクラブの結成
- ・マイクローケラトロン アイバンクへの寄贈
- ・坂出市にレオン3号(広報車)の寄贈
- ・アグネスチャンの記念講演

しました。

午後1時より大会実行委員長の挨拶で祝宴を開始、田中節太2R1RCの乾杯のご発声、生演奏が流れる中、祝宴部長の楽しい司会で予定の2時間が過ぎました。

最後に記念ゴルフの成績発表などを行い、入江一宏2R14ZCのユニークなライオンズローアで閉宴し、周年事業の諸行事がすべて終了いたしました。皆様のご協力に感謝

いたします。

《記念事業》

- ・新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・西条市特別公演
- ・西条石鎚ライオンズカップ少年サッカー大会
- ・西条市図書館へ図書の寄贈
- ・年間を通し全員参加の清掃活動
- ・記念ゴルフ大会において障害者自立支援チャリティ募金

高松西L.C認証35周年式典

高松西L.C会長 宮本里美



4月29日、マリベール高松において高松市長はじめ武久一郎地区ガバナー、地区名誉顧問、地区役員・委員、スポンサークラブ、ブラザークラブ、そして姉妹提携して34年となる台湾の高雄市西子湾獅子会の皆様のご臨席をいただき記念式典を開催いたしました。

式典の前に、大谷貴子さんによる「いのちみつめて」と題した骨髄バンクの記念講演会を開催いたしました。参加者全員の心に残る講演で、骨髄バンクの普及に結びつくことを願っています。

式典では心温まるご祝辞をたくさんいただき、会員一同感激いたしました。

そして、高松西ライオンズクラブの35年の航跡を映像で披露し、あくなき情熱を傾注してクラブに貢献された先輩ライオンの足跡に想いを致すと共に、そのご意志を引き継ぎ、次なる時代へのステップを真剣に思考し、実践していくことが私どもに課せられた使命だと改めて感じました。

そして祝宴は、劇団リトルウィングによる環境問題をテーマにしたミュージカルが始まり、子供達のさわやかな歌声と笑顔に心洗われ、最後に迫力ある国分寺太鼓の音で閉めました。

我がクラブは女性や若いメンバーも多く、活気のある楽しいクラブで



す。35周年を機に、会員間の絆がますます深まったように思います。

これからもみんなで力をあわせて、楽しく明るく、社会奉仕により精進してまいりたいと思います。

- ・台湾高雄市台風水害お見舞い金
- ・LCIFへ献金
- ・高松市内の各幼稚園、小学校、中学校へ骨髓バンク啓蒙図書寄贈
- ・全国骨髓バンク推進連絡協議会への寄付

松山中央LC認証45周年記念式典

会長 丹下 靖憲

5月11日、松山全日空ホテルにて

認証45周年記念式典を、加戸守行愛媛県知事、中村時広松山市長、宇高昭造第一副地区ガバナー、菅武廣第二副地区ガバナー、山下実キャビネット副幹事、地区役員、親子クラブ・ブラザークラブ、また姉妹提携・友好クラブの名古屋／仙台／長野からも遠路45名、当クラブ会員80名、総勢約200名の出席を得て盛大に開催することが出来ました。

式典では知事（代理）の挨拶に続き中村松山市長から、認証45周年のメインアクティビティ「加藤嘉明公騎馬像」寄贈までの経緯と感謝、そして遠来のお客様と自分とのエピソードを交えたご挨拶を、また宇高第一副地区ガバナーからは会報誌の記事に触れながらのご挨拶をいただき

き式典も無事終了。

引き続きの祝宴では、「坊ちゃん劇場」の現役俳優10名による、正岡子規ミュージカル（ジェームス三木脚本・演出）の一部を演じて頂き、豪華なオープニングでスタート。また松山ならではの「だんだん俳句塾」には、たくさんの方々が投稿され、楽しい一時を過ごすことができ、大

平成22年5月16日(日)、真鍋武紀香川県知事（代理）、大西秀人高松市長をはじめとする一般のご来賓並びに武久一郎3361A地区ガバナー

高松東LC結成45周年記念大会

PR・ライオンズ情報委員会委員長 岡 義博



いに交流が図れたと思います。終りは参加者全員が一つの輪になり、「また会う日まで」を合唱し、全員心が一つになる感動の時間となり、ローアにて散会。

《記念事業》
・加藤嘉明公騎馬像を松山市に寄贈

をはじめとするライオンズクラブ関係のご来賓にも参加頂きました。また、姉妹提携クラブである水戸東ライオンズクラブやソウル永東ライオ



ンズクラブからも大勢の皆様に参加を頂き、参加者が200名を超える盛大な大会となりました。

今記念大会のコンセプトは「若い芽は光を求めて無限の空へ」であり、青少年の育成事業を記念大会の事業としました。子どもたちが大きな夢を持ち、心豊かな人間に育ってもらえるよう、メンバーからの思いを贈りました。

久米大会委員長・辻会長の挨拶に始まった式典は、結成45周年の記念事業の発表で締めくくり、閉会コンサートとなりました。和やかなうちにも

厳粛な55分間でした。

祝宴は、クラブメンバーのL坂東雅也のご祝儀舞に始まり、アトラクションとして和太鼓と津軽三味線の競演があり、阿波踊りも飛び出すなどして大いに盛り上がりました。

50周年に向けて奉仕活動が続けてゆく決意であるとの関谷第一副会長の閉会の言葉で締めくくり、また会う日までの大合唱で幕を閉じました。

開催に当たり、ご協力いただきました皆様の友情に心より感謝申し上げます。

高松北LC結成5周年記念大会

会長 宮崎 政一

五月晴れの5月9日、記念式典に先立ち午後1時より記念事業の一環として「麻薬・覚せい剤等乱用防止」キャンペーンを実施しました。

当クラブのメンバーや友好ライオンズクラブ、そして高松市内の中学校のPTAの方々が、高松市田町の交番前から香川県警音楽隊を先頭に、覚せい剤乱用防止のプラカードを持ち、その意思表示のための黄色の腕章をつけ、高松三越前までパレードを行い、道行く市民への啓発

《記念事業》

- ・高松第一学園（高松市立高松第一小学校・中学校）と高松市立新番丁小学校へ校歌額寄贈
- ・アンフィニ・サロンオーケストラによる演奏会「オーケストラ探検コンサート」を新設統合校2校へプレゼント
- ・CSFIIキャンペーンに寄付金3万6000ドル
- ・LCIFへクラブ献金1240ドル

を行いました。

パレード終了後の午後3時30分から高松国際ホテルにて「麻薬・覚せい剤等乱用防止」をテーマに香川県健康福祉部薬務感染症対策課の井下主事による「香川の薬物乱用の現状について」、夜回り先生で知られる水谷修先生より「さらば哀しみのドラッグ」と題し特別講演をしていただき、薬物中毒によって若い命を散らしていった子供たちへの先生の思いが、多くの聴衆に深い感銘を与え



ました。

講演会に引き続き記念式典に移り、武久一郎地区ガバナリー、川辺信郎キャビネット幹事、稲崎国延4RIRC、スポンサークラブの高松西ライオンズクラブなどから心温まるお祝いのお言葉をいただきました。この記念大会を一里塚として、今後とも明るい未来創造のための奉仕活動を行ってまいります。

《記念事業》

- ・麻薬・覚せい剤等乱用防止のための青少年健全育成記念パレードおよび記念講演会
- ・檀紙ファイターズ旗争奪児童ソフトボール大会

武久一郎地区ガバナーの1年間の主な活動
 (MD336関係及び周年行事、その他の委員会、内局会などを除く)

- 《4月》
 18日 次期地区RC・ZC・委員
 長・副幹事・副会計オリエン
 テーション
 19日 次期地区委員長・委員研修会
- 《5月》
 24日 MD336第55回年次大会
- 《6月》
 7日 次期クラブ三役オリエンテ
 ション
- 《7月》
 10日 国際大会閉会式、ガバナー就任
 16日 高松西LC例会訪問(入会式)
 20日 YEサマーキャンプ開村式
 23日 小松島LC例会訪問(入会式)
 25日 第1回地区名誉顧問会議
 26日 第1回地区キャビネット会議
- 《8月》
 1日 ガバナー公式訪問(8R)
 2日 ガバナー公式訪問(9R)
 8日 ガバナー公式訪問(1R)
 9日 ガバナー公式訪問(3R)
 22・23日 ガバナー公式訪問(2R)
 26日 半田LC例会訪問
 29・30日 ガバナー公式訪問(4R)
- 《9月》
 5日 ガバナー公式訪問(5R)
 12日 ガバナー公式訪問(6R)
 13日 ガバナー公式訪問(7R)
- 《10月》
 2日 国際大会閉会式、任期終了
- 1日 徳島やまももLC結成会
- 《11月》
 4日 志度LC例会訪問(入会式)
 28日 第2回地区名誉顧問会議
 29日 第2回地区キャビネット会議
- 《12月》
 1日 徳島中央LC例会訪問(入会式)
 3日 三豊LC例会訪問(入会式)
 6日 徳島やまももLC認証状伝達式
 15日 高知鏡川LC例会訪問
 18日 YEウインターキャンプ開村式
 26日 徳島シニアLC結成会
- 《1月》
 21日 鳴島LC例会訪問
- 《2月》
 6日 第3回地区名誉顧問会議
 7日 第3回地区キャビネット会議
- 《3月》
 9日 坂出シニアLC結成会
 22日 徳島シニアLC認証状伝達式
- 《4月》
 11日 第56回地区年次大会
- 《5月》
 4日 MD336第56回年次大会
 14日 第4回地区名誉顧問会議
 15日 第4回地区キャビネット会議
- 《6月》
 10日 地区キャビネット引継研修会

● アクテビティ&新会員紹介 ●

坂出白峰ライオンズクラブ

野鳥保護奉仕活動

今年で38回目となる野鳥保護奉仕活動を10月25日(日)五色台国民休暇村にて開催しました。坂出市立中央小学校の児童・保護

者・教員、当クラブ会員の総勢78名が参加。巣箱作成後、3班に分かれて巣箱の取り付けと古い巣箱の撤去を行いました。



前川 昌也



西条 仁



高尾 泰弘



入谷 洋一



筒井 伸治



長田 恭至

編集*集*後*記

▼4月25日の第1回編集会議から早1年が過ぎ、本号の発刊をもってその任務を終了する。編集委員の方々には慣れない取材や原稿執筆をお願いしたが、皆頑張って取り組んでいただいた。今はただ感謝の気持ちで一杯です。また、原稿を提出いただ

いたクラブの方々には、大切な原稿を無断で割愛したり、写真が掲載できなかったことをお詫びさせていただきます。

▼編集長として貴重な経験を数多くさせていただき、ライオンズクラブに対する視野が広がり、大きな財産をもらったような気がする。お世話になった皆さん、本当に有り難うございます。(編集委員長 関 勝美)



謹んでお悔やみ
申し上げます

物故
会員

- ①氏名・享年
- ②LC名
- ③入会年月日
- ④没年月日



①大登 祐一(83歳)
②3R-2Z 八幡浜
③1971年10月31日
④2010年1月17日



①刈谷 裕子(71歳)
②6R-1Z 高知桜
③1993年11月30日
④2010年1月10日



①宮下 宗蔵(75歳)
②3R-3Z 南宇和
③1977年11月27日
④2010年1月7日



①上森 千秋(86歳)
②7R-1Z 高知鷹城
③1988年1月
④2010年1月6日



①野崎 善利(83歳)
②4R-3Z 志度
③1986年10月15日
④2010年1月4日



①大久保義信(82歳)
②9R-3Z 徳島西
③1983年4月
④2010年1月31日



①河内 徳男(82歳)
②8R-1Z 阿波勝浦
③1998年12月2日
④2010年1月30日



①西尾 一雄(85歳)
②6R-1Z 高知
③1999年7月13日
④2010年1月29日



①細谷 昌義(75歳)
②5R-2Z こんびら
③1987年2月26日
④2010年1月27日



①酒井富士夫(76歳)
②3R-2Z 八幡浜
③1966年5月1日
④2010年1月20日



①河野 義邦(84歳)
②1R-3Z 松山南
③1977年5月28日
④2010年2月12日



①吉峰 泰夫(90歳)
②4R-4Z 高松栗林
③1963年2月
④2010年2月11日



①青木 義行(94歳)
②4R-2Z 直島
③1981年7月
④2010年2月10日



①石川 壽男(62歳)
②4R-4Z 高松栗林
③1981年10月
④2010年2月6日



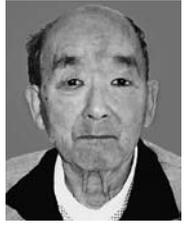
①宮本益二郎(85歳)
②4R-3Z 志度
③1982年10月
④2010年2月1日



①花岡 孚(70歳)
②3R-3Z 宇和島中央
③1993年7月14日
④2010年3月17日



①田中 勝(56歳)
②1R-3Z 松山 白鷺
③1998年5月
④2010年3月17日



①二宮 栄一(87歳)
②3R-1Z 宇和
③1981年10月
④2010年3月15日



①松井 哲俊(59歳)
②3R-1Z 大洲
③1992年2月
④2010年3月6日



①青木 保範(86歳)
②2R-3Z 伊予三島法皇
③1980年11月24日
④2010年3月2日



①吉田 重雄(84歳)
②9R-1Z 藍住
③1969年6月17日
④2010年4月13日



①三瀬 岩男(83歳)
②3R-2Z 八幡浜
③1962年10月1日
④2010年4月12日



①鈴木 健二(65歳)
②2R-1Z 新居浜
③1989年10月
④2010年4月12日



①稲本 洋(92歳)
②3R-1Z 宇和
③1978年10月
④2010年4月10日



①山内 貢(74歳)
②2R-3Z 伊予土居
③1993年12月1日
④2010年4月4日

四国のまんなか 紙のまち 篤き絆で ウィ・サーブ



第57回地区年次大会

- と き：2011年
4月9日(土)・10日(日)
- ところ：愛媛県四国中央市



次期ガバナーズローガン

「明るく、やさしく、心をこめて ウィ・サーブ」

■次期ガバナーキーワード■

「希望」

次期四国中央キャビネット事務局

〒799-0111 愛媛県四国中央市金生町下分798-2 KS会館 2階
TEL 0896-22-3277 FAX 0896-22-3279
E-mail cabinet@lionsclub336a.org

2009~2010年
ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 徳島キャビネット



〒779-3131 徳島市下町本丁59-30
TEL 088-636-5336 FAX 088-636-5337
E-mail: lions@w8.dion.ne.jp